

119	検査を中止した日に関しても、既に予約受付をした人については対応した。また、検査中止を決定以降、予約申込みのあった人については後日再予約があり、検査を実施した。啓発事業については実施できなかったが、検査に関しては大きな影響はなつたと考えている。昨年の状況をみても夜間検査のニーズが高いことから、計画通り夜間迅速検査を実施していれば、受検者は増加していたと思われる。
120	通常通りの対応にもかかわらず、結果として受検者数の減少が認められた。インフルエンザの電話相談が多く、HIV 検査に関する電話相談がつながりにくかったことが予想される。
121	保健所の電話回線がすべて新型インフルエンザ関連でふさがってしまい、検査を受けたくても HIV 検査に関する問い合わせが出来ない人が増え、受検者数の減少につながった要因とも考えられる。HIV 検査担当のスタッフ数を減らし、新型インフルエンザ対応に回ってもらった。HIV/AIDS 予防対策全般について、検討する時間がまったくなかった。
122	新型インフルエンザ対応に追われ、通常通りの体制では検査の運営が危ぶまれたが、来所者が通常より少なかったため、何とか乗り切れた。来所者が通常通りの数であれば十分に対応できたか疑問。
123	新型インフルエンザに対する積極的疫学調査などの実施が求められ、かろうじて検査、結果説明は実施しましたが、受検者への周知が可能であれば、中止することが必要であったと思われる。学校対象のピア研修を予定していましたが、学校が閉鎖になったり、新型インフルエンザの発生もあり、保健所の対応の予測が立たない状況であったので中止にした。
124	スタッフが電話相談などの対応にとられ、検査時相談に十分時間をかけられないことがあった。HIV 相談や問い合わせの電話をしても保健所につながらないという苦情があった。
125	通常相談者が多い場合等、二人体制で相談にあたっていたが、その応援をもらえるのも困難で、来所者に長時間待ってもらっている状況である。小規模職場では他チーム（難病・母子・精神）にも余力なく応援を得にくい状況である。HIV 相談日は新型インフルエンザ対応が重なり、チーム全員が席を不在にすることも多く、他チームへの負担など保健所業務全体へ影響し、HIV 相談の開催回数も検討しなければならない状況である。インフルエンザ対応が日々変化していき、土日を含めて感染症チームが総力をあげて対応にあたらなければならない状況であり、インフルエンザ対応だけでもオーバーワークしている。インフルエンザの相談日は、HIV 相談日も関係なく入るので、来所者の待ち時間が長くなるなど影響している。現在月 4 回相談日を設けているが、このような状況では現行の体制を維持できない。

126	新型インフルエンザの対応はHIV検査だけでなく、結核などの業務にも影響が出ている。受検者の減少もあり、通常通りの対応が出来たが、受検者が多ければ、影響が出たと思われる。
129	週1回、1時間半の検査受付時間設定なので、影響なし
133	HIV予防週間の啓発活動では、準備をする時間を十分にとることが難しく、新しい取り組みができなかった。HIV検査は広報で事前に周知しており、また予約制でもないため、忙しい中でも日程変更ということは出来ない状況であった。
302	新型インフルエンザの対応で、発生した場合に検査を中止する可能性があることを予約時に説明した。新型インフルエンザの対応に追われたこともあるが、発生した場合、検査を中止する可能性が高かったため、6月に予定していた臨時検査を中止した。
309	新型インフルエンザ発生当初については、検査予約について当初見合わせをいたしましたが、流行状況などにより検査日の間近で予約受付を開始する対応をとりました。
310	常勤スタッフが、定例検査に関わることができず、非常勤を中心に対応した。免疫不全状態の受検者がいた場合、多人数が集う検査場が新型インフルエンザの感染拡大の場になりうる心配があった。（今でも心配である）
311	検査の影響がないように努力し、中止や縮小はしていないし、今後もする予定はない。しかし、今後のエイズ予防月間に向けての取り組みは例年に比べて、大きく後退せざるを得ない状況になっている。例年6-7月に開催している「エイズ地域連携協議会」が来年3月に延期される。例年11月に開催していた街頭キャンペーンを中止し、学集会和即日検査を実施する予定である。
314	「HIV検査普及週間」のキャンペーンが例年になく低調であったように感じます。
316	HIV検査自体が匿名予約のため、検査の中止が出来ず、受付自体を中止した。
319	保健指導を縮小したため、予防活動が行えなかった。
321	検査について、常勤スタッフは1名しか配置できず、パート職員で業務を主に行ってもらった。（通常は2-3名配置している）
326	検査は中止にしなかったため、通常の体制で検査に関わることは出来たが、同時に新型インフルエンザの対応もしていたため、課の業務全体で見れば非常にタイトであったと思う。臨時検査の周知を縮小したため、受検者数が少なかった。定例検査の予約受付時には、「感染拡大防止のため、中止することもあり得るので、当日来所前に確認の電話をするよう」に周知することとした（検査の中止は行わなかった）。
328	結果通知の文を作成する等の事前準備の時間が少なくなった。

329	通常通りの検査体制をとっていましたので、具体的な影響はというと、何とも言えません。余力については感覚的なもので、通常通り検査をしていたところから考えれば、影響なしとも言えます。
330	新型インフルエンザについての問い合わせ、対応の電話がHIV事業実施時間内に多数ある状況の中、新型インフルエンザ対応の人員が必要であった。人手が手薄になるため、戦略研究アンケートは4月から中止せざるをえなかった。
331	通常、結果の返却は医師が実施していますが、新型インフルエンザの発生に伴い、医師の対応が出来なくなった場合、保健師が結果を返却することになります。予定外の結果返しが入ったために、残業へ持ち越すこともありました。検査自体では、それほど影響が出なかったように思いますが、結果返しも含めて考えると、余力は0%に近いときもあったと思うので、0と回答しました。
351	検査を縮小又は中止にする必要があるかどうか検討を行い、縮小又は中止は行わないが、検査による新型インフルエンザの蔓延を防ぐための体制を整えたくて実施するように対応した。プライバシー保護に留意しながらも、窓を開放し、喚起に留意する、咳等急性呼吸器症状や発熱などがある方へのマスク提供と、優先して別室での対応を行い、他受検者との接触を最小限にする、待ち時間における外出の勧め等を行った。新型インフルエンザ罹患の受検者を把握するために、検査意思確認シートに、新型インフルエンザ流行地への渡航や接触歴、症状の有無をチェックする項目を入れ、新型インフルエンザへの注意喚起を提示して対応した。
354	例年に比較して、受検者の減少は見られますが、特にHIV検査について大きな影響はありませんでした。
355	インフルエンザの影響かどうか分かりませんが、前年と比較すると受検者は半分以下でした。
357	HIV検査に対応する人材の確保が出来ない
358	個別面談、結果通知に対応する医師や保健師が新型インフルエンザ対応に追われた。
359	エイズ予防事業（HIV抗体検査）の担当が新型インフルエンザ・感染症の担当でもあったので、新型インフルエンザ発生時はHIV検査には携われず、他課の保健師の協力を得て実施した。
360	新型インフルエンザの対応で、スタッフが1名抜けてしまったことで、HIV検査に関わるスタッフを他の課から1名動員した。今までのスタッフ体制で検査が実施できなかった。
362	医師：医師2名（保健所長 従事医師）体制であり、従事医師がHIV業務中、保健所長が新型インフルエンザに対応していたため、影響は少なかった。保健師：HIV検査担当は新型インフルエンザ業務にかかわっていないため影響は少なかった。

367	受検者数はむしろ増加しており（平成20年11月より即日検査を導入したため）、影響はなかった。
370	実施報告や実績報告の提出が遅れた。他課スタッフの協力を得て、検査を実施した。
374	6月に毎年実施している休日エイズ検査は、新型インフルエンザの影響から中止となりました。月2回実施している定例検査は、保健師が当番制で1名ずつ担当し行っています。受付時間が1時間であり、受検者も多くないことから、それほど影響なく実施できています。
376	人手不足（問診、採血スタッフの不足、結果通知をする医師の不足など）。検査を中止したことによる電話対応。講習会の実施計画立案を見合わせた。
377	HIV担当者が新型インフルエンザ担当も兼ねているため、5月以降は業務の大半が新型インフルエンザ対応となってしまう、HIV検査を中止することとなった。
378	HIV検査・相談には3名が従事（検査部門を除く）。場合により、電話等で新型インフルエンザに対応することはあったが、HIVの検査・相談への影響はほとんどなし。啓発教育についても、外来講師を依頼していたので、ほとんど影響はなかった。（当保健所は、県内でも新型インフルエンザ患者の発生が遅く、7月後半だったこともあると考える）
379	検査を希望する方が多かったが、断らざるを得なかった。
380	インフルエンザ対応により、マンパワーが不足した。通常は医師、カウンセラー含め9名程度配置。新型対応繁忙期は医師、カウンセラー、スタッフ3名程度で実施。検査時に使用していた部屋が、発熱相談センター等になったため場所が制限された。まん延予防のため、人混みへの外出を控えるようアナウンスしていたため、保健所に人を集めることが出来なかった。新型インフルエンザの対応とHIV対策を同じ部署で行う関係で、検査の縮小をせざるを得なかった。新型インフルエンザ対応の方が優先度が高く、HIV検査は不急のものとの判断になってしまった。
382	もともと少人数のスタッフでHIV検査を担っていたので、新型インフルエンザの対応との調整が大変であり、検査の受け入れ枠を縮小せざるを得ませんでした。

(2) 2010年2月調査結果

コード	自由記述
110	委託機関に任せっきりになった。
112	12月のエイズ月間について、街頭啓発は実施せず、パンフレットの送付にとどめた。また、検査は時間拡大の予定だったが、通常時間と夜間検査だけにしました。インフルエンザの影響か、マスコミの影響かエイズ相談・検査申し込みの電話が例年に比べ少なく、結果として検査実績も減少しました。
113	秋にワクチン接種に関わる通知が出されるようになってから、接種体制や対象者などに対する啓発や相談が入り、混乱があった。この時期がエイズ月間計画～実施準備にあたり、地域全域で臨時検査の中止もしくは、縮小となった。当保健所は大学と一緒に行えたが、夜間検査は中止した。
115	検査希望者が減った。 結果返しに来所しない人が増えた。
117	新型インフルエンザの対応が緩和されたため、新型インフルエンザによる影響はほとんどない
118	啓発・普及の縮小はあったが、定期検査にはほとんど影響なかった。
119	拡大検査を中止したが、定例検査の受検者も減少。ニーズが高い夜間即日検査（例年12月実施）を中止したため、受検者は減少したと思われる。当日における定例検査は従来検査（3週間後に結果返し）を実施しています。
121	新型インフルエンザ業務に手をとられて、HIV業務通常スタッフが手薄になる事もあった（PCR搬送など）
123	保健所を受検した人の中で、「保健所に行くとなんか新型インフルエンザに感染すると思い、受検を控えていた」といっていた人が、何人かあった。マスコミ等で発熱があれば、まず保健所へというのが浸透しすぎた影響でしょうか。
125	通常時から人員、時間とも余裕がないため、新型インフルエンザのみにかかわらず、感染症事案が発生した際には、HIV検査にかかわることのできる人数が減るため、待ち時間が増えてしまう。
126	HIVの検査自体にかかる時間、余力は通常とあまり変化なし。この時期に受検者が増えれば大変だったことが予想されるが、昨年より少し減ったことと、また、電話の問い合わせも新型インフルエンザが中心で、特に（HIVの）電話相談件数が増えたことはなかった。
127	新型インフルエンザの対応に多くの時間が割かれたものの、定例業務として組んでいたHIV関係業務は、通常通り実施している。そのため、新型インフルエンザ対応が時間外に及ぶことがあった。

132	HIV 検査の受検者数が、昨年と比べ大幅に減少した。
301	12 月の臨時検査をインフルエンザとは別の事情で中止した。1 月以降実施の検討もしたが、実施できなかった（人的、予算的事情による）。
302	新型インフルエンザの対応に時間が取られ、例年は 12 月に実施している夜間検査を延期・縮小せざるをえなかった。HIV 事業の検討があまり出来なかった。職員数が増えたわけではないため、職員の事務量の負担が増加し大変だった。12 月・1 月は予約申し込み数が少なかった。新型インフルエンザの予防接種の影響か。
303	常勤スタッフが対応することが大変な時があった。
304	体制については、大きな変更はなかった。ただし、受検者数は 2-3 割減となり、今年度の実績減は避けられない状況
310	飛沫感染する疾患が流行期である時期に、不特定多数を集める事業を継続しなければならぬことに不安を感じました。HIV ポジティブで全身状態の良くない方が受検される可能性を危惧します。スタッフ自身や家族の罹患により、当日に従事できるスタッフが急に減ることもあり、新型の対応に加え、事業を継続するのは人員配置の面でも困難でした。
312	予定した事業は実施したが、細部に渡る改善などは行えなかった。
314	特に 1 月の受検申し込みが減少したが、原因は不明。
316	新型インフルエンザの影響かは分析できないが、ここ数年と比べ、予約者数が減少している。
319	保健指導を縮小したため、予防活動が行えなかった。
321	受検者数が減ったが、その分、検査前、後の相談時間を十分取れるようになった。
324	受検者数の減少
331	医師がインフルエンザ対応のため、結果返しに保健師が代替で入り、業務時間外に通常業務を行うことになった。急な調査で、HIV に従事するのが困難になった。代わりを見つけるのに、とまどうこともあった。
332	新型インフルエンザの影響は全くありません。
343	新型インフルエンザの対応ということで、それなりに人手は必要だったが、HIV 検査に影響が及んだ点はほとんどなかった
345	影響はありませんでした

351	回数や時間に縮小は行わなかったが、積極的に臨時検査の拡大は行わない方針で、流行状況やウイルスの毒性・重症化の動向に最新の注意を払い、状況によっては、中止や時間短縮を念頭において実施していた。受検者への検査前説明表示においてインフルエンザの症状をチェックし、有症状者へのマスク配布と待ち時間空間への特別な配慮、会場の喚起に注意を払うスタッフを配置した。問い合わせ先となっている電話回線は、インフルエンザワクチン関係の電話での苦情や問い合わせにより、10月から12月にかけて繋がらない状況となった。当施設は予約制ではないため、予約の電話が繋がらないことによる受検者の減はないが、通常多くある検査実施への問い合わせはできなかった可能性が高く、実施状況の確認が出来なかった方は受検を避けた可能性はある。
354	当施設におきましては、検査の中止・検査規模の縮小はしておりません。しかしながら、通常期・世界エイズデー時期において検査・相談件数の減少が見られ、現在においても前年度の水準を下回ることが多い状況です。
355	業務で変更した点としては、咳をひどくされている方に対して、「インフルエンザが流行っており、周囲の方も気になさると思うので、宜しければマスクをご利用下さい」とお渡しした程度です。委託検査のため、保健所スタッフとは独立して業務をしているため、通常のスタッフ体制で定例検査を行えました。
359	HIV 検査担当が新型インフルエンザの疫学調査等の担当だったので、別の課のスタッフ（保健師）の動員を依頼し、HIV 抗体検査業務にあたってもらった。人員制限したため、受きたい希望者が受けられず、断ることになってしまった。
360	隣接する市が HIV 検査を中止したため、検査希望の予約が殺到した。受け入れ件数を超えたため、予約できない希望者も多数みられた（夏ごろ）。
362	8 月以降は特になし
366	医師が新型インフルエンザ関連業務のため、HIV 検査の問診を行えないことがあった。（看護職で対応）
367	電話対応等によって、HIV 検査の準備期間等に余裕がなかった。
370	検査結果の整理、報告準備、集計やアンケート結果の送付など事務的な面でもスタッフが足らずに困った。
375	通常であれば、HIV 検査に関わるはずのスタッフが、新型インフルエンザの対応にとられることが 1 回あった。
376	人手不足。検査においてインフルエンザの感染防止対策
379	キャンペーンを実施できなかったために、HIV 検査に対する普及啓発不足のためか、受検者が大幅に減少した。

380	検査普及週間の中止、検査数縮小、中止により、年間の HIV 検査数が前年に比べて 140 件程減少した。5 月～7 月縮小。1 回中止（休日検査 60 人予定）、5 回縮小（平日 30 件×4 回・120 件予定）→実施 37 件へ。7 月後半から通常通りの受け入れ人数としたが、所内に新型インフルエンザ相談窓口を設置し、相談対応したため、使用できる部屋数とスタッフ数が 1 名程度減少した。
382	当所管内は、かなりインフルエンザが流行していたので、感染拡大防止のため、検査を中止せざるを得ませんでした。
386	当所は予約制で月 2 回実施しております。通常、予約枠を超える申込があり、超過分はお断りしている状況ですので、受検者数としては変化がなかった可能性はあります。（「超過分の減少」の有無については、データがなく、判断できません）

(3) 2010年8月調査結果

コード	自由記述
125	相談事業の体制は、昨年度（H22年3月）までは月4回、1回に1時間の相談時間を設けていましたが、今年度（H22年4月）より月2回、1回に2.5時間の相談時間に変更しました。
127	感染予防についての健康教育に力をそそいでいるが、検査のリピータ（再検査受検者）も多い。
302	20年度は受検日前に定員でいっぱいになりましたが、22年度は受検日当日でも予約ができるような状態です。
314	即日検査・相談を通年実施したいが財政事情が悪いため大変に困難な状況にある。受検機会の拡大に向け強力なプッシュをお願いしたい。
319	最近、南新宿などで実施している検査予約システムについて、インターネットなどの活用を区市町村のレベルでも行えると良いと思います。検査機会等を多様に拡大するための人材、予算の限界。
327	エイズについて皆の中でよく知らないし、関心がないので、予防啓発事業の導入が難しい。
328	定例の検査を昨年と同様に実施しているにもかかわらず、昨年度4～7月の受検者が42名であるのに対し、今年度同時期の受検者が13名に激減した。予約のキャンセルが多い。前日に予約をしたにも関わらず、当日に受検者が来所しない場合もある。
361	個別施策層により受けやすい体制づくりは、地方の1つとしてどこまで行って行くべきか。県の施策、近隣の市町村とダブらないよう有効な方法を県全体で調整していく必要があるのではないか（保健所、庁内の合意調整に時間を要する）。物理的に望ましい検査場の確保が難しい中、人（スタッフ）の数、予約時間、流れなどについて検討中。

表 6. HIV 検査件数・陽性件数照合結果

コード	照合資料	照合期間	照合セル	照合率	不一致セル	不整合率
101	集計データ	2007年10月～2009年3月	504	100%	0	0%
110	集計データ	2007年10月～2010年12月	1020	100%	31	3.04%
120	個票（検査申込用紙）	2007年10月～2010年12月	1092	100%	31	2.83%
213	集計データ	2007年10月～2010年12月	1092	100%	42	3.84%
221	受検者検索	2008年9月～2010年12月	784	100%	2	0.26%
302	集計データ	2007年10月～2010年12月	1092	100%	4	0.37%
303	集計データ	2007年10月～2010年12月	1064/1092	97.4%	1	0.09%
307	集計データ	2007年10月～2010年12月	1092	100%	10	0.92%
310	集計データ	2007年10月～2010年12月	1092	100%	2	0.18%
315	集計データ	2007年10月～2010年12月	1092	100%	7	0.64%
318	集計データ	2007年10月～2010年12月	1092	100%	5	0.45%
321	集計データ	2007年10月～2010年11月	1064	100%	1	0.09%
323	集計データ	2007年10月～2010年12月	1092	100%	2	0.18%
350	日報集計データ	2007年10月～2010年12月	1092	100%	4	0.37%
357	集計データ	2007年10月～2010年12月	1092	100%	44	4.02%
370	個票（検査申込用紙）	2007年10月～2010年12月	1092	100%	3	0.27%
375	集計データ	2007年10月～2010年12月	1092	100%	0	0%
379	個票（検査申込用紙）	2008年4月～2010年11月	896	100%	74	8.26%
415	会計日報	2008年1月、2010年11月	56	100%	5	8.90%
207	(HIV 検査受検者を検索できず照合不能)			0%		

資料 1.

エイズ予防のための戦略研究：研究協力施設登録票

- ・ 課題 1 首都圏および阪神圏の男性同性愛者を対象にした HIV 抗体検査の普及強化プログラムの有効性に関する地域介入研究（市川班）
- ・ 課題 2 都市在住者を対象とした HIV 新規感染者及び AIDS 発症者を減少させるための効果的な広報戦略の開発（木原班）

本戦略研究に 年 月より 年 月まで研究協力施設として参加します。

研究協力施設責任者

施設名：

職名：

氏名：

住所：

e-mail

TEL

FAX

施設内研究協力者

職名

氏名

e-mail：

TEL：

FAX：

職名

氏名

e-mail：

TEL：

FAX：

記載年月日

年

月

日

備考：

1ヶ月の平均的な HIV 抗体検査件数 約 件

エイズ予防のための戦略研究

新型インフルエンザの影響に関する緊急調査

施設名 _____

記載者名 _____

TEL _____

e-mail _____

5 月に入ってから新型インフルエンザへの対応で、HIV 検査の実施に支障が出たところがあると伺っております。以下のことについて、貴施設の状況をお知らせ下さい。

①新型インフルエンザ対応の影響により、5 月～7 月における定例の HIV 検査について、縮小や中止がありましたか。

- なし
- 縮小した（受け入れる受検者数を _____ 人減らした）
- 中止した（通常検査を _____ 回中止した）

②新型インフルエンザの影響により、5 月～7 月に予定していた臨時の HIV 検査について、縮小や中止がありましたか。

- 予定通り実施した
- 縮小した（受け入れる受検者数を _____ 人減らした）
- 中止した（定員 _____ 人の臨時検査を中止した）
- 臨時検査の予定はなかった

③5 月～7 月の定例検査日または臨時検査日に、受検者が受け入れ上限を超えるようなことはありましたか。

- なかった
- あった
- 現在も検査の縮小または中止が続いており、不明

④新型インフルエンザの影響により、HIVに関する啓発事業の縮小や中止がありましたか。

- なし
- 縮小した
- 中止した

⑤例年と比較し、今年の5月～7月の受検者の動向はどうでしたか。

- 例年と比較し、受検者数が減った
- 例年と比較し、受検者数に変化はなかった
- 例年と比較し、受検者数が増加した
- 検査の縮小・中止をしたため、例年と比較できない

⑥5月～7月のHIV検査日における、スタッフの配置状況について教えてください。(複数選択可)

- 通常のスタッフ態勢でHIV検査を実施した。
- 通常であれば、HIV検査に関わるはずのスタッフが別の業務にとられることがあった
- 普段HIV検査に関わっていないスタッフをHIV検査に動員したことがあった
- その他(詳細: _____)

⑦HIV検査担当者が、HIV検査に関わることのできる時間や余力について、通常期を100%とした場合、新型インフルエンザの影響が一番出た時は、どの程度(何%)になりましたか。

約 _____ %

⑧8月1日現在、HIVの検査体制はどうなっていますか。

- 通常通り実施している
- 検査枠を縮小して実施している
- 定例検査を中止している

⑨新型インフルエンザの対応で、HIV検査に影響が出た点について教えてください。(自由記載)

エイズ予防のための戦略研究

新型インフルエンザの影響に関する緊急調査 2 回目

施設名 _____

記載者名 _____

TEL _____

e-mail _____

以下のことについて、貴施設の状況をお知らせ下さい。

- ① 新型インフルエンザ対応の影響により、昨年 8 月～本年 1 月における定例の HIV 検査について、縮小や中止がありましたか。

- なし
 縮小した (____ 月～ ____ 月の期間、受け入れる受検者数を ____ 人から ____ 人に減らした)
 中止した (____ 月に通常検査を ____ 回中止した)

- ② 新型インフルエンザの影響により、昨年 8 月～本年 1 月(世界エイズデー前後を含む)に予定していた臨時の HIV 検査について、予定の変更や中止がありましたか。(複数選択可)

- 予定通り実施した
 受け入れる受検者数を縮小した(____ 人から ____ 人に減らした)
 予定では休日検査であったが、平日検査に変更した
 予定より受付時間を短縮した
 夜間検査の予定を日中検査に変更した
 即日検査の予定を通常検査(後日結果返しの検査)に変更した
 中止した (定員 ____ 人の臨時検査を中止した)
 臨時検査の予定はなかった

- ③ 昨年 8 月～本年 1 月の定例検査または臨時検査日に受検者が受け入れ上限を超えるようなことはありましたか。

- なかった
 あった
 現在も検査の縮小または中止が続いており、不明

④ 新型インフルエンザの影響により、HIVに関する啓発事業の縮小や中止がありましたか。

- なし
- 縮小した
- 中止した

⑤ 例年と比較し、昨年の8月～本年1月における受検者の動向はどうでしたか。

- 例年と比較し、受検者数が減った
- 例年と比較し、受検者数に変化はなかった
- 例年と比較し、受検者数が増加した
- 検査の縮小・中止をしたため、例年と比較できない

⑥ 昨年8月～本年1月のHIV検査日における、スタッフの配置状況について教えてください。

(複数選択可)

- 通常のスタッフ態勢でHIV検査を実施した。
- 通常であれば、HIV検査に関わるはずのスタッフが別の業務にとられることがあった
- 普段HIV検査に関わっていないスタッフをHIV検査に動員したことがあった
- その他(詳細: _____)

⑦ 昨年8月～本年1月の状況についてお尋ねします。HIV検査担当者が、HIV検査に関わることのできる時間や余力について、通常期を100%とした場合、新型インフルエンザの影響が一番出た時は、どの程度(何%)になりましたか。

約 _____ %

⑧ 2月1日現在、HIVの検査体制はどうなっていますか。

- 通常通り実施している
- 検査枠を縮小して実施している(受け入れ可能な受検者を _____ 人から _____ 人に縮小している)
- 定例検査を中止している

⑨ 昨年8月から本年1月の状況についてお尋ねします。新型インフルエンザの対応で、HIV検査に影響が出た点について教えてください。(自由記載)

エイズ予防のための戦略研究
安全管理に関する施設調査

施設名 _____ 記載者名 _____
TEL _____ e-mail _____

本年 4 月～7 月末までの貴施設における HIV 検査の状況について教えてください。

- ① 4 月～7 月末までの定例の HIV 検査について、縮小や中止がありましたか。
- なし
 - 縮小した（ 月から 月の期間、受け入れる受検者数を 人から 人に減らした）
 - 中止した（ 月に通常検査を 回中止した）
縮小・中止の理由：（ _____ ）
- ② 4 月～7 月末までに予定していた臨時の HIV 検査について、縮小や中止がありましたか。
- 予定通り実施した
 - 臨時検査の予定はなかった
 - 受け入れる受検者数を予定より縮小した（ 人から 人に減らした）
 - 中止した（定員 _____ 人の臨時検査を中止した）
縮小・中止の理由：（ _____ ）
- ③ 4 月～7 月末までの定例検査日または臨時検査日に、受検者が受け入れ上限を超えるようなことはありましたか。
- なかった
 - あった
 - 不明
- ④ HIV に関する啓発事業の縮小や中止がありましたか。
- なし
 - 縮小した（理由： _____ ）
 - 中止した（理由： _____ ）

⑤昨年と比較し、今年の4月～7月末の受検者の動向はどうでしたか。

- 受検者数が減った
- 受検者数に変化はなかった
- 受検者数が増加した

⑥HIV検査に関わったスタッフの状況について教えてください。(複数選択可)

- 通常のスタッフ数で対応可能な状況であった
- 通常のスタッフ数では対応困難と感じる日があった
- 検査に関わるスタッフを増員した
- その他(詳細: _____)

⑦8月1日現在、HIVの検査体制はどうなっていますか。

- 通常通り実施している
- 検査枠を縮小している
- 一部検査を中止している(具体的に: _____)

⑧その他:戦略研究の啓発に関して、検査現場で困っていること、問題と思うようなことがありましたら、教えてください。(自由記載)

このアンケートは厚生労働科学研究事業（エイズ予防のための戦略研究）による調査で、エイズキャンペーンの向上を図る上で必要な情報を集めることを目的として実施しているものです。

アンケートでは名前や住所をおたずねすることはなく、個人の情報が外部にもれることは一切ありません。また、このアンケートはご本人の自由意志に基づくもので、回答しないことによる不利益は一切ありません。回答できない項目はご記入いただかなくても結構です。

内容をご確認の上、同意をいただいただけの方のみ、アンケートへの記入をお願いいたします。アンケートへの記入をもって、この調査の目的を理解しご協力を頂いたものとさせていただきます。

なにとぞ調査にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

厚生労働科学研究事業 エイズ予防のための戦略研究

研究リーダー：市川 誠一（名古屋市立大学大学院看護学研究科）
木原 正博（京都大学大学院医学研究科）
主任研究者：木村 哲（財団法人 エイズ予防財団）

ご記入後は封筒に密封し回収箱にお入れ下さい。

本調査に関する質問は以下にご連絡下さい。

財団法人エイズ予防財団 戦略研究推進室

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-3-12 水道橋ビル5階
TEL: 03-5259-1811 (代表)、FAX: 03-5259-1812

Q1 今日の日付をご記入ください。

平成 年 月 日

Q2 あなたの年齢、性別、お住まいの都府県名を教えてください。

- a. 年齢 → 歳
 b. 性別 → 1. 男性 2. 女性 3. その他 ()
 c. お住まい → 1. () 都府県 2. 海外 ()

Q3 今回あなたは何か心配で、HIV抗体検査(エイズ検査)を受けられましたか? (○はいくつでも)

1. 女性との性的接触による感染 3. 注射針などの共用による感染
 2. 男性との性的接触による感染 4. その他 ()

Q4 HIV抗体検査(エイズ検査)は今回が初めてですか?

1. 初めて
 2. 以前受けたことがある

↳ 2 を選んだ方は、以下の問いにもお答えください。
 過去1年以内にエイズ検査を受けたことがありますか。(1. はい 2. いいえ)

Q5 ここ約1カ月の間に、エイズに関する情報を以下のもので見聞きましたことがありますか? (○はいくつでも)

1. 医療機関に貼ってあったポスター 10. 雑誌
 2. 医療機関に置かれていたパンフレット 11. 自治体の広報
 3. その他のパンフレット 12. インターネットのサイト
 4. 電車の吊り広告 13. ゲイ向けのインターネットサイト
 5. 街頭の大きなテレビ画面 14. 飲み屋(バー)
 6. テレビ 15. ディスコ/クラブ
 7. ラジオ 16. 知人/友人からの情報(口コミ)
 8. 学校に貼ってあったポスター 17. その他 ()
 9. 新聞 18. どれもなし

Q6 以下の情報についてどう思われますか?

1. 最近あなたの住んでいる都府県でHIV(エイズウイルス)感染者の報告数が増えている。 → 1. 正しい 2. 正しくない 3. わからない
 2. エイズ検査は日本中どここの保健所でも受けられる。 → 1. 正しい 2. 正しくない 3. わからない
 3. 性病にかかっても半数以上の人では無症状である。 → 1. 正しい 2. 正しくない 3. わからない
 4. 性病にかかっているとHIV(エイズウイルス)に → 1. 正しい 2. 正しくない 3. わからない
 何倍もかかりやすくなる。

Q7 次の図柄や印刷物の中で、見たと思うものがありますか?

1. ある 2. どれも見た記憶がない
 ↳ あると思う方は、下記の図の番号に○をつけてください (○はいくつでも)

1		2		3		4	
5		6		7		8	
9		10		11		12	

Q8 これまでエイズや性病に関することで、どこか専門の相談サービスを利用したことがありますか?

1. ある 2. ない

↳ どこに相談しましたか? 相談したところの番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 保健所・保健福祉センターの相談
 2. NGO(民間のエイズボランティア組織など)
 3. エイズ予防財団
 4. その他 ()

Q9 HIV検査について、ご意見があればお書きください。

以上で質問は終わります。ご協力ありがとうございました。

このアンケートは厚生労働科学研究事業（エイズ予防のための戦略研究）による調査で、エイズキャンペーンの向上を図る上で必要な情報を集めることを目的として実施しているものです。

アンケートでは名前や住所をおたずねすることはなく、個人の情報が外部にもれることは一切ありません。また、このアンケートはご本人の自由意志に基づくもので、回答しないことによる不利益は一切ありません。回答できない項目はご記入いただかなくても結構です。

内容をご確認の上、同意をいただける方のみ、アンケートへの記入をお願いいたします。アンケートへの記入をもって、この調査の目的を理解しご協力を頂いたものとさせていただきます。

なにとぞ調査にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

厚生労働科学研究事業 エイズ予防のための戦略研究

研究リーダー：市川 誠一（名古屋市立大学大学院看護学研究科）

木原 正 博（京都大学大学院医学研究科）

主任研究者：木村 哲（財団法人 エイズ予防財団）

ご記入後は封筒に密封し回収箱にお入れ下さい。

本調査に関する質問は以下にご連絡下さい。

財団法人エイズ予防財団 戦略研究推進室

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-3-12 水道橋ビル5階

TEL: 03-5259-1811 (代表)、FAX: 03-5259-1812